

## 第5回鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊（土湯の森）自然再生実施協議会 ～「土湯の森」づくり前年度事業報告と今年度事業計画を承認～

平成二十三年六月一日に第5回鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊（土湯の森）自然再生実施協議会を開催しました。午前中は最上川スキー場跡地において、森林再生ゾーンの植付木及び実生木の発育状況の確認等の現地検討会、また、午後は戸沢村役場で自然再生実施協議会を開催しました。



旧最上川スキー場現地検討会

現地検討会では、植付木の生育が夏期の乾燥により枯死木が増加したこと。刈払区では刈払いの効果が現れ、スギ・マツ・リュウブ等の生育が順調であったこと。自然推移ゾーンにおいては、広葉樹の生育が順調で樹種の多様化、樹高も伸びてきたこと等について事務局から説明を行いました。

協議会では ①平成二十二年度の事業報告 ②平成二十三年度の事業計画 ③各種イベントの参加者募集について協議を行いました。

特に、植付区の枯損木の補植の必要性。多様な樹種による植付木の適性試験の実施。刈払区の区域拡張の取扱い。森林環境教育を組み合わせた自然再生活動の取組強化等について、積極的な意見が交わされました。また、今年度、戸沢村の主催する諸行事の説明もありました。



自然再生実施協議会

事務局としましても森林再生ゾーンの刈払い、植生及びセンサーカメラを活用した動物相のモニタリング調査活動について委員の方々の意見を踏まえ、今年度も自然再生活動に取り組んでいくとともに、植付区における補植、種まき体験等を通じて、広く一般市民・児童・学生等に自然再生に対する理解、協力が得られるよう、また、学校等への森林環境教育の支援等を組み合わせながら、活動を展開していきたいと考えております。

○「土湯の森」づくりホームページをどうぞご覧ください。

アドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/tutiya/index.html>